

<学界消息>

◇日本環境教育学会第13回大会記録

日時 2002年5月24日(金)～26日(日)

場所 宮城教育大学

企画事業

巡検いぐねの学校(エクスカーション)

「杜の都仙台を探る」環境教育の素材としての干潟・いぐねを考える

関連学会共催セミナー

共催：日本原生動物学会・日本水環境学会

水環境の科学「総合的学習の実践のために」

石井誠治「簡易水質分析のおもしろさと水環境評価の難しさ」山田一裕「水生生物による水の浄化能力と水辺環境とのつながり」見上一幸「環境教育の素材としての原生動物の可能性」盛下勇「水質指標としての原生動物の位置づけ」

環境計測実習講座

対象：現職教員および一般市民20名程度、無料

1.水質分析の方法(村松隆・猿渡英之・石井誠治) 2.衛星情報の活用方法(佐藤清忠) 3.インターネットを使った生きもの調査(岩瀬成紀・鶴川義弘)

基調講演

「アジアの自然観と21世紀型環境教育」湊秋作(財、キープ協会 やまね博物館館長)

シンポジウム

新世紀型環境教育に向けて「環境保全型農業と環境学習」司会進行：岩瀬成紀、パネリスト：呉地正行(日本雁を保護する会会長)丸林良彰(NHK教育番組「おこめ」担当ディレクター)寺島一夫(宮城県山元町役場) Nial Moores(韓国湿地連盟)吉成信夫(こども環境研究所代表) テレビ会議サテライト：佐渡新穂(にいほ)村(佐渡トキ保護センター他)

環境計測体験講座「森の環境を測る」

対象：学会員、教師、一般市民等30名程度 青葉の森 講師：大石康彦(森林総合研究所)、比屋根哲(岩手大学農学部)

オーバービュー

近年の学校ビオトープ：田邊龍太((財)日本生態系協会)

総合的な学習の時間と環境学習：鳩貝太郎(国立教育政策研究所)

持続可能な社会に向けての環境教育：小澤紀美子(東京学芸大学)

自然学習について考える：山田卓三(名古屋芸術大学)

これからの環境教育：鈴木善次(日本環境教育学会会長)

一般発表

<教育理念・教育評価>

幼児教育者養成教科で“環境”をどう紹介しているか(その8)：近藤正樹(白梅学園短期大学)

保育者養成短期大学の教育課程における環境教育の実施実態について：○井上美智子(近畿福祉大学)・田尻由美子(精華女子短期大学)

子どもにとっての地域環境学習の意味(1)－評価に向けての実験的調査をもとに－：○大谷直史(鳥取大学教育地域科学部附属教育実践総合センター)・真奈あき(鳥取湖山子どもセンターほちほち)

総合学習の中で行われた森林教育の教育効果の検討－盛岡市立上田小学校における森林教育の分析事例－：○小笠原花衣・比屋根哲(岩手大学農学部)・小山田久子(盛岡市立上田小学校)

異なる内容の森林体験学習が生徒の森林観に及ぼす影響(1)－事前・事後における意識の比較－：○比屋根哲・山本信次(岩手大学農学部)・大石康彦(森林総合研究所東北支所)・中村文治(岩手県北上地方振興局)・上野幸子(盛岡市立下橋中学校)・和田政男(北上市立北上中学校)

屋久島環境学習ネットワーク会議－環境学習関連施設の有機的連携のために－：柳田一郎(屋久島環境文化財団)

北海道「道民の森・森の子くらぶ」の体験型プログラムに関する実践的の一考察：○山本幹彦(NPO法人当別エコロジカルコミュニティー代表)・城後豊(北海道教育大学札幌校)

環境教育・学習と合意形成(2) 社会科授業モデルの開発：○水山光春(京都教育大学)・田中曜次(京都教育大学附属桃山中学校)

高等学校公民科教科書における環境倫理に関する記述について：岩井省一(河合塾)

科学を扱う環境教育の問題点と教育プログラムの提案：○伊藤通子・丁子哲治・岩井正雄(富山工業高等専門学校)

「人生地理学」と環境教育－「環境教育宣言」・「城北の森」・社会貢献活動－：飯尾美行(静岡県立浜松城北工業高等学校)

環境教育技法の効果に関する社会心理学的研究：大竹 庫一（愛知県立岡崎商業高等学校）

環境教育研修の企画・立案における留意点と共通認識：樋口利彦（東京学芸大学）

教育現場へのペットボトルリユース装置の導入と環境教育への効果：脇誠治（群馬県立医療短期大学）

京都教育大学の構内で発生するゴミの実態とゴミに対する学生の意識：○岡村洋平・土屋英男（京都教育大学）

酪農教育と環境教育の相関に関する一考察—キープ協会の活動を一例として—：増田直広（財団法人キープ協会）

環境学習拠点における学習プログラムの評価手法に関する基礎的研究—三重県環境学習情報センターでの連続型環境学習講座を事例に—：○小川宏樹・河北裕喜（三重大学大学院）

環境の問題と環境問題：原宏（国立保健医療科学院生活環境部）

環境教育の縦糸と横糸をどうつむぐか—野生動物問題解決に向けた実践の事例から—：陸齊（長野県自然保護研究所）

持続可能な社会のための環境教育—生徒の責任ある環境行動を導く学習の成立に向けて—：○岩本泰（東京学芸大学大学院）・小澤紀美子（東京学芸大学）

持続可能（性）教育：原子栄一郎（東京学芸大学附属環境教育実践施設）

日本・韓国・中国における環境教育比較（1）：○高橋正弘（財団法人地球環境戦略研究機関）・阿部治（立教大学）

「酸性雨」を用いた理科教育での環境教育—アンケート調査と教科書の検討—：○新貝弥生・二宮修治（東京学芸大学）・原宏（国立公衆衛生院）

環境教育における体験学習の構造化に関する試論：井村礼恵（多摩川源流研究所・東京農工大学大学院）

自然的・社会的・文化的環境の一体化による主体的環境観の育成（その17）—生活科を中核とした「町探検」学習の実践を通して—：中島美恵子（富山県高岡市立定塚小学校）

参加体験型環境教育施設に関する研究（その3）H.Gardnerによる有効性の主張の検討及びポートフォリオ導入の可能性：○戸田敬（埼玉大学大学院教育学研究科）・石田康幸（埼玉大学教育学部）

ドイツと日本の高校生の環境意識の違いについて：○

金戸悠輔・石井早苗・土田麻子・塩瀬治（自由の森学園）・高木英理子・濱部進也（鳥取環境大学）・安野真理子・田中朝子（和光大学）

日本における環境教育成立過程の背景としての環境問題と社会動向：小川潔（東京学芸大学）

日中における持続可能な社会のための環境教育に関する研究：○小澤紀美子・小川潔（東京学芸大学）・樋口利彦・原子栄一郎（東京学芸大学附属環境教育実践施設）・森茂岳雄（中央大学）

グローバルとローカル：西元和夫（龍谷大学）
台湾における環境教育政策（5）：萩原豪（学習院大学大学院政治学研究科）

フィリピン・パラワン州における小学生の環境意識：○今井智美・新川加奈子（神戸海星女子学院大学）・倉重加代（鹿児島女子短大）

環境教育と消費者教育の接続？「持続可能な消費のための教育」に関する国際的動向（2）：松葉口玲子（鳴門教育大学）

「一日一善日誌（環境によいこと）」—広島工業大学の場合—：田羅征伸（広島工業大学）

<社会科学系>

「庄内の町発見！—庄内の町はすてきな町—：牧 宏（名古屋市立庄内小学校）

子どもエコクラブ・サポーターの環境情報発信活動—住民参加の地域づくりをめざして—：原田智代（せいわエコ・サポーターズクラブ）

給食管理実習から発生する生ゴミの肥料化と植物実験（その3）木炭の併用効果について：辻正博（名古屋大学）・○樫尾一・野杖治市（名古屋栄養専門学校）

市民活動と連携した中学生の環境改善活動—「環境家計簿簡単ブック」の実践を通して—：竹澤伸一（千葉県市川市立大洲中学校）

電磁波問題について：菊川順子（鹿児島国際大学短期大学部）

カキ殻を用いた酸性雨の中和実験：○高橋正昭・加藤進（三重県科振セ）・宮尻英男（三重環防研）・島洋久（ICETT）

福岡県環境教育学会の歩みと今後の課題：○矢野正孝（北九州高専）・時井純子（久留米市役所）・野井英明（北九州市立大）・濱村研吾（福岡県保環研）・森本美鈴（北九州市環科研）

環境に配慮した消費行動に関する社会心理学的検討：杉浦淳吉（愛知教育大学）

赤ちゃんのおむつ使用と母親の環境意識－保育所の調査から－：石坂孝喜（大塚保育園）

東北の農地環境と環境保全型農業：西館和則（NPO法人・環境保全米ネットワーク）・小金沢孝昭（宮城教育大学）

おからの有効利用に関する研究と市民教育活動：○松本仁（徳島文理大学）・清水祥子・市野富士子（長野女子短期大学）・磯部明彦（群馬県立女子大学）

自治体の環境学習リーダー育成 100時間講座の学習成果－大阪市、河内長野市での取り組みから見えるもの－：○岡崎敏・岩川恵理（グローバル環境文化研究所GEC）

私たちが生まれた市民大学講座－協働作業から私たちの美しいふるさとへ－：○樋口麻美・渡辺文郁・下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）

石川県まちづくり大好き人間養成作戦事業の展開と課題：陣内雄次（宇都宮大学）

大和市体験的環境学習推進事業結果報告－事業の推進におけるNPOの役割と評価－：○秋山友志・渡辺敦（NPO法人かながわ環境教育研究会）・日置之光（NPO法人メタセコイアの森の仲間たち）・大和市環境部環境総務課

学校教育と環境に関連する行政・施設・企業との連携システム構築について：藤岡達也（大阪府教育センター）

「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習の実証的研究（その10）－高等学校における実践分析－：○井元りえ（山梨大学）・妹尾理子（東京学芸大学）・内野紀子（山梨大学）・武田清美（文化女子大学附属杉並中・高等学校）

環境家計簿と組み合わせた地球温暖化問題教育ソフトの開発とそのねらい：○小林幸司・南隆昭（(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク）・三浦秀一（東北芸術工科大）・北條祥子（尚綱女学院短期大）

地球温暖化防止活動における地域NGOの役割－MELON・ストップ温暖化センターみやぎの取り組み－：○南隆昭（ストップ温暖化センター事務局員・(財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク）・北條祥子（ストップ温暖化センター長・尚綱女学院短期大学）

医療従事者の医療廃棄物に対する関心：松下由美子（和歌山県立医科大学看護短期大学部）

シックスクール問題に関する予備調査結果：○高田美紀・吉野博・澁沢のりえ（東北大学大学院工学研究

科）・角田和彦（坂総合病院小児科）・北條祥子（尚綱女子短期大）

環境教育・学習プランの策定について：村山卓（仙台市環境局環境部環境都市推進課）

スラム街（フィリピン・マニラ首都圏ナボタス市）が学生を変えた！：○村田論美・秋山朋子・米光雅宣・下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）

発信活動（国際NGO活動）が私たちを変える：○冨永貴秋・宮原光司・和栗亜沙美・下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）

サバ州・サラワク州におけるエコツーリズム：○中端章博（財団法人地球環境戦略研究機関）・阿部治（立教大学）

酸性雨問題に関する国際普及啓発事業の展開：岩田元一・佐藤二郎・○山下研・河内綾子（(財)日本環境衛生センター酸性雨研究センター）

環境教育におけるリスク問題の取り扱いについての一考察：石川聡子（大阪教育大学）

論争中の環境問題を学校教育で扱う：塩川哲雄（大阪府立北千里高等学校）

<自然系実践>

乳幼児期における環境教育の研究Ⅱ－幼児と自然のかかわりにおける検討－：大澤力（東京家政大学）

生活科における学校ビオトープ活用のあり方－池のない学校ビオトープもある－：植田善太郎（大阪府泉大津市立上條小学校）

学校ビオトープの基礎的研究（Ⅴ）共生の論理としての主体のあり方：赤尾整志（グローバル環境文化研究所）

学校ビオトープの活性化：藤本妙子（大阪外国語大学）
校庭の野草調査から見た学校での自然環境保全の現状について：田明男（大阪市立姫里小学校）

野外活動実践を通じた環境教育のあり方に関する考察－雑木林内における自然活動及び観察について－：○佐藤朝代（けやの森幼稚園）・福田直（埼玉県立狭山高等学校）

森林の階層構造に基づく環境教育：○畠山真由美・久保田正昭・山口修（兵庫教育大学大学院）

富城県が養成した森林インストラクターの活動に対する意識：○高橋秀哉・比屋根哲（岩手大学農学部）
環境教育実践としてのネイチャーゲームの成立と発展：降旗信一（東京農工大学大学院環境教育学・日本ネイチャーゲーム協会）

ビオトープから地域学習への発展：市川寛（長野県飯

山市立飯山小学校・前駒ヶ根市立赤穂小学校)
 ジャンボタニシについての調査報告Ⅱー栄養専門学校の授業での試みー：○辻正博（名古屋大学）・梶尾一（名古屋栄養専門学校）
 水中微小生物による水田の酸素放出と環境教育：○加藤涼子（宮城教育大学）・片山舒康（東京学芸大学）
 見上一幸（宮城教育大学環境教育実践研究センター）
 宮城県内における水辺観察活動の10年と今後の展開：○山田一裕（東北大院・工）・小島淳子・篠原富雄（みやぎ生協）
 バクテスタによる酸性雨調査活動が市民の環境意識・環境配慮行動に及ぼす効果：田中美恵子（東北エコライフ研究会）・篠原富雄・紺野加代子（みやぎ生協）・原宏（国立保健医療科学院）・水田恵三・北條祥子（高網短大）
 琵琶湖の富栄養化を題材とした環境学習プログラムの開発と実践：○榎原亜紀・川嶋宗継（滋賀大学）・川崎陸男（栗東市立葉山中学校）
 河川の外来種と在来種：○熊澤綾子（日本環境学会会員）・熊澤貴子（WWFJ会員）
 大学生を中心としたパートナーシップによる地域の水辺環境改善の実践：小堀洋美（武蔵工業大学環境情報学部）
 ○牧野優子・市村和人・萩原朋子・高砂子昌久（武蔵工業大学工学部）
 河川に出現する繊毛虫類を用いた環境教育：○Abdurahman・村松隆・見上一幸（宮城教育大学環境教育実践研究センター）
 環境レポート展開催の実践ー神奈川県自然：生きものたちの写真展ー：○小佐野貴識・池見英記・山岡創・向後裕司・笠間慎太郎（鶴見大学生物部）
 阿部道生・西川純雄・佐々木史江（鶴見大学歯学部生物学）
 小笠原の子どもたちの動植物に関する知識：○文野洋（東京都立大学）・尾見康博（山梨大学）・可知直毅（東京都立大学）
 尺岳川エコパーク（第2報）環境教育の場としてのピオトープ構想：小堀進・佐藤雄星（近畿大学大学院）
 ○坂本栄治（近畿大学九州工学部）
 自然保護教育のための北海道野生植物の希少種リスト：○谷口弘一（國學院大学栃木短期大学）・勝見允行（国際基督教大学）
 地域づくりにおける環境学習の役割ー沖縄県読谷村の海浜・海域保全の実践よりー：小栗有子（東京農

工大学大学院）
 地域の自然を取り入れた授業により、中学生の環境に対する意識はどう変化したかー理科を中心としたアクションリサーチによる授業実践研究ー：○高城英子（松戸市立新松戸北中学校・東京学芸大学大学院）
 原子栄一郎（東京学芸大学）
 環境教育プログラムの基礎的研究ー里山の教材化を通してー：○藤田忠弘（茨城大学大学院）
 大辻永・利安義雄（茨城大学）
 環境教育といくねの学校：加藤良樹・北川長利・小金沢孝昭（宮城教育大学）
 長野県蓼科保養学園における保養と学習の取り組み：上原麻（東海女子大学）
 米国立公園局におけるパークレンジャー養成に関する報告ー解説業務の側面からー：君島俊克（千葉大学大学院）
 インターネットを活用した環境情報教育ー野外観測での携帯端末の利用ー：○新井正一・池田勝枝（目白大学）
 登山運動と自律神経機能：○山仲勇二郎（山梨大学大学院）
 永吉英紀（国士舘大学）
 自然教室の建築計画と施設利用ー日本野鳥の会 鳥と緑の国際センターにおける実践報告ー：○岩永幸呼（筑波大学大学院）
 岩永至功（時空遊園）
 下重喜代（日本野鳥の会）
 エコツーリズムと環境教育：北川光雄（静岡英和短大）
 動物園における環境教育実践に向けた一考察ー場の形成・活用・展開論ー：高橋宏之（千葉市動物公園／東洋大学大学院）
 地域の湿地を用いた環境教育の実践的研究：鈴木晃（田尻町立大貫小学校）
 土壌学習「土は生きている」カリキュラム開発とその教育実践：永川元（神奈川県立初声高等学校）
 音にかかわる環境教育の実践的試み：加藤晶子（岩手大学教育学部）
 工学系学生への菌類を含む自然教育（Ⅱ）自然界に見るリサイクルの原型：○安藤正信・高原光子（日本大学生産工学部）
 <総合学習>
 川と人びとのくらしー真美ヶ丘東小学校4年（2組）の実践報告ー：本庄眞（香芝市立真美ヶ丘東小学校）
 都市部の小学校における環境教育ーセカンドスクールを活用した総合学習のケーススタディーー：田中純江（東京都武蔵野市立第五小学校）

- 「総合的な学習の時間」における水環境を中心とした環境教育の実践的研究：佐々木勉（宮城県登米町立登沢中学校）
- 神奈川県内公立小中学校における環境学習の実態調査結果：○井出泰斗・森さつき・松倉芳美（慶應義塾大学大学院）・小寺昭彦・渡辺敦（特定非営利活動法人かながわ環境教育研究会）
- 「学校を教材とした総合的な学習の試み」－パッシブなエネルギーを利用した学校の探検ワークショップ：○本多和恵（財ふくしま建築住宅センター）・松井壽則（日本大学工学部建築学科）
- 未来のまちづくりを用いた総合的な学習の可能性
東長町小学校における副都心プロジェクトとNPO・行政・企業との連携：○枝松芳枝（東北緑化環境保全）・亀崎英治（北六番丁小）・佐藤慎也（東北文化学園大学）
- まちづくり運動における子どもへの環境教育－奈良まちづくりセンター「遊」文庫の活動を中心に－：高野由美子（日本女子大学）
- 「活動提案型」の新しい環境副読本の提案：○渡辺敦・小寺昭彦（特定非営利活動法人かながわ環境教育研究会）・古川ゆかり（ことば工房）他
- プロジェクトY（柳生）－柳生小バーチャルカンパニー－：清水康弘（東北経済産業局）
- 学校週5日制に対応した自治会とPTAとの連携について：笹谷康之（立命館大学）
- 環境教育における体験的活動の意義・役割－「総合的な学習の時間」とワークショップの授業の可能性－：田中敏久（学校教育ネットワーク・東京都公立小学校）
- 総合的な学習を支援するパッケージプログラム－プロジェクトワイルドの指導者養成の実践事例から－：森美文（森環境教育事務所）
- 教材圏の教育的な効果：山根一晃（鎌倉女子大学短期大学部）
- 総合的な学習と食・農業体験学習の視点：小金沢孝昭（宮城教育大学）
- 学校と施設の連携を求めて－昨年のポスター発表の分析から－：○小杉慶子（横浜雙葉中学高等学校）・尾崎理恵（（財）日本野鳥の会サンクチュアリ室）
- 「フランドン農学校の豚」が問いかけるもの－BSE（牛海綿状脳症）問題から生命を食生活を考える－：○篠崎恵昭（埼玉大学教育）・石川亜紀（子どもの目）・西城戸司（埼玉大学理学）
- 音と香りのグラデーションと生命の循環－地元小学生に対して行った自然教育事例－：藤田均（青森大学大学院環境科学研究科）
- 「資源・エネルギー・環境」に関する総合的な学習の実証的研究（その9）：山下宏文（京都教育大学）・○鈴木真（練馬区立石神井小学校）・田中明（川崎市立田島小学校）・石原淳（文京区立金富小学校）・小宮豊（東京都大田区立羽田小学校）・富岡立行（社会システム研究所）
- ムササビに学ぶ－体験学習と寺院の活用について－：矢島道彦（鶴見大学短期大学部）
- まちづくりへの参画を目指した総合的な学習（その1）－とっておきの宝探しからウォークラリーまで－：瀧田健司（名古屋市立大曾根中学校）
- 実験を重視した「環境学」フィールドワークの取組例：越野省三（奈良女子大学文学部附属中等教育学校）
- 環境教育・総合的な学習で既存のプログラム・カリキュラムを使用する問題点とその対策－「教育の環境化」の視点より－：飯沼慶一（成城学園初等学校）
- <教材開発・カリキュラム・プログラム>
- 土壌学習を通して環境教育を考える：福田直（埼玉県立狭山高等学校）
- 体系的な土壌の環境教育に関する研究－第5報 土壌教育教材の開発（1）土壌観察ガイドブックの作成－：田村憲司（筑波大学応用生物化学系）・○深野基嗣（筑波大学環境科学研究科）・東照雄（筑波大学応用生物化学系）
- 環境教育教材としての砂漠化問題：ソドスチン（東北大学大学院）・小金沢孝昭（宮城教育大学）
- 育てて食する環境教育－「チャレンジ！そばづくり」の実践より－：小坂靖尚（秋田県増田町立増田小学校）
- 三保半島に漂着するミズウオの環境学習への利用：○伊藤芳英・西源二郎・久保田正（東海大学海洋科学博物館）
- 生物の保護活動を通じた環境教育：森幸一（滋賀県甲南中学校）
- 生態系の運命と法則を学ぶ教材－マイクロビオトープの検討－：○田中邦明・鈴木亜由美（北海道教育大学函館校）
- 特定地域に特化した環境教育プログラム集「ティーチャーズガイド」－沖縄石垣島のサンゴ礁保全学習をテーマにした事例－：○古瀬浩史（自然教育研究センター）・高橋啓介（環境省石垣自然保護官事務

所)

SCPブロックを用いた交通環境教育(1)－教材開発－：
松村暢彦（大阪大学大学院工学研究科）・松井克行
（西淀川高等学校）・○片岡法子（(財)公害地域再
生センター）

SCPブロックを用いた交通環境教育(2)－大気汚染公
害についての授業実践報告－：○松井克行（大阪府
立西淀川高）・松村暢彦（大阪大学大学院工学研究
科）・片岡法子（(財)公害地域再生センター（あお
ぞら財団））

河川流域の「お宝マップづくり」を通した水環境学習：
江成敬次郎（東北工業大学、仙台リバースネット・
梅田川）

都市空間と環境教育の実践空間づくり：○松山正将・
花岡健一・菊地清文・佐伯吉勝（東北工業大学）

インターネットGISを用いた星空環境の教材化：○長
島康雄（仙台市天文台）・成田忠雄（仙台市教育セ
ンター）

「資源・エネルギー」を題材とした「総合的な学習の
時間」カリキュラム用教材の開発：○麻生雅美・田
中達郎・森田浩司（東京電力）・伊原浩昭（国立教
育政策研究所社会教育実践研究センター）・山下宏
文（京都教育大学）

「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習の実
証的研究（その8）－小学校低学年「遊びの中でエ
ネルギーを見つけよう」を例に－：野口芳江（さい
たま市立大宮西小学校）・○鷹野山希子（さいたま
市立大宮小学校）・中島美恵子（高岡市立定塚小
学校）・佐島群巳（帝国短期大学）

学校設定科目「環境の世紀へ」実践報告：地主修（宮
城県古川女子高等学校）

幼稚園、保育所の保育における幼児期環境教育の要
素：田尻由美子（精華女子短期大学）

「グローブ日本 生徒の集い」の意義と発展方向：○
辻忠恭（東京学芸大学環境教育実践施設・立正大学
大学院地球環境科学研究科）・樋口利彦（東京学芸
大学環境教育実践施設）

小学校における大和川を活用した環境教育の展開状
況－奈良県・大阪府の教員対象アンケート調査の結果
を通して－：○岩本廣美（奈良教育大）・渋谷友
和（東大坂市立縄手南小）・月出修司（奈良教育大・
院）

水文化教育の構想と実践－日本の歴史と水文化－：立
花禎唯（京都教育大学大学院、高槻市立松原小学校）

大学生を対象とした環境教育セミナーの試み－グ
ループ別学習法を中心とした実践報告－：川南公
代・○土屋清・勝田真人・岩井秀明（順天堂大学ス
ポーツ健康科学部）・西田真哉（国立赤城青年の家）
・細見修（群馬大学医学部）・谷口恵子（青森大学大
学院）

大学生を対象とした環境教育セミナーの試み－参加
体験型学習法の自然に対する関心に及ぼす影響－：
○川南公代・土屋清・勝田真人・岩井秀明（順天堂
大学スポーツ健康科学部）・西田真哉（国立赤城青
年の家）

アースアートの可能性－美術科としての環境教育へ
のアプローチ－：鈴木斉（福生市立福生第三中学校）
渡良瀬川の泥(底質)の重金属(Cr, Cu, Cd, Pb)汚染
について：杉浦公昭（東洋大学工学部）

新カリキュラムにおける「環境学」の再構築：中道真
子（奈良女子大学文学部付属中等教育学校）

教員養成学部における環境教育カリキュラム－信州
大学教育学部での一例－：渡辺隆一（信州大学教育
学部）

アメリカのエコシステムマネジメントと「環境教育」
－チェサピーク湾プログラムの事例をふまえて－：
高山進（三重大学生物資源学部）

中国での参加型環境教育の研修と国際協力：小寺正明
（日中環境教育協力会、環境・国際研究会）

アジア太平洋地域の高等教育段階における環境教育
のデリバリシステムとeラーニングの果たす役割：
佐藤真久（(財)地球環境戦略研究機関（IGES））

GEMS（ジェムズ）の環境教育プログラム：○古川和
（ティーチャングッズ代表、ジャパンGEMSセンター事
務局長）・飯沼慶一（成城学園初等学校）

ポスター発表

里山保全活動の環境学習機能：○倉本宜（明治大学農
学部）・宮久保知和子（明治大学大学院農学研究科）
・永井敬子（明治大学農学部）

みどり子どもエコクラブ事例紹介とその評価：前田洋
枝（名古屋大学大学院環境学研究科）

総合的な学習「たねのひみつ」の実践：○津田美子
（名古屋市立正木小学校）・津田智（岐阜大学流域
圏科学研究センター）

環境学習をベースにした国際交流・理解の可能性（創
造性教育手法の応用による環境学習の支援）：○佐
藤慎也（東北文化学園大学）・細田洋子・関口美恵

- 子(仙台市)・田代久美(宮城大学)・馬場たまき(尚絅女学院短期大学)・米倉雅真(東北文化学園専門学校)
- 学校教育以外の環境学習への参加の実態：西山道恵(大阪外国語大学大学院)
- 自然体験キャンプが児童の生体リズムに及ぼす影響—心電図R-R間隔変動の周波数領域解析による検討—：○永吉英記(国士舘大学)・川村協平(山梨大学)・山田亮・山仲勇二郎・中村織江(山梨大学大学院)
- 携帯型空気吸引ポンプによるSPMの測定：○岸香織(東京学芸大学大学院)・佐藤豊・中島利誠・中山榮子(昭和女子大学)
- アンネのバラ・友の会埼玉く平和・環境・教育・人権の地域ネットワーク：○西城戸司(埼玉大・理)・榎本好子(円造形教室・篠崎恵昭(埼玉大・教育)
- 安全で効果的な環境教育プログラムの開発Ⅰ—学童保育所における実践的研究—：○齋藤潔(桐蔭横浜大学工学部)・佐藤敬(日本昆虫協会)・寺田輝明((株)寺田)・高橋裕子(松戸市相模台学童保育所)・小出真右(松戸市相模台学童保育所父母会長)・村松伸弘・衣袋祥子(千葉県環境財団)
- 博物館活動における水塚を用いた地域学習からの展開：○江口誠一・白井豊・藤原道郎(千葉県立中央博物館)
- 環境エネルギー館が考えるワークシート：○目後芳花・岩田郷子(東京ガス(株)環境エネルギー館)
- 森林環境教育の場としての学校林：奥山洋一郎(東京大学大学院)
- 河川水質調査による環境学習の進め方—広瀬川水質調査を事例として—：○森田衣子(仙台商工団地情報処理センター)・佐藤優花里・村松隆(宮城教育大学環境教育実践研究センター)
- 「プロジェクトアドベンチャー」の学校教育活動への導入事例—「みやぎアドベンチャープログラム」による学びの環境づくり—：○石川国広(東京工業大学大学院社会理工学研究科)・多田聡(明治大学法学部)
- パートナーシップによる環境学習センターの活動：○高月紘(京都大学)・戸田耿介(京のエコロジーセンター)・秋本育生(環境市民)・山崎勝重(京都市)
- 市民が参加した里山の自然環境調査とその成果—埼玉県飯能市の例—：内田康夫(駿河台大学経済学部)・○太田和夫(NACS-J自然観察指導員)・天覽山・多峯主山の自然を守る会調査委員会
- 光環境工学分野における環境教育のあり方：○村松陸雄(武蔵野女子大学人間関係学部)・高野雅彦(株式会社環境管理センター)・小野裕子(オノ・ユコ環境教育研究所)
- 環境教育教材「麦のカクタ」の開発：○林浩二・嵯峨創平(都市環境教育研究会)
- ホームページを利用した森林環境教育の可能性：立石凱義(社団法人国土緑化推進機構)・吉田紀子・○大因徳子(株式会社大伸社)
- 動物園での学びを支援する教材開発—動物の観察から環境学習へ—：○渡邊重義・能田御鈴・篠原恵美(愛媛大学教育学部)
- 野外教育の場として大学演習林が果たす役割—愛媛大学演習林の取り組みをもとに—：○小林修・鶴見武道・藤久正文・尾上清利・河野修一(愛媛大学農学部附属演習林・森林教育)

関連小集会

- アジア太平洋地域における環境教育戦略を考える—IGES環境教育プロジェクトの活動を通して—：代表者 中端章博
- 環境教育推進のための教員研修システムとプログラム開発—関連地域におけるパートナーシップの構築を踏まえて—：代表者 藤岡達也
- 環境教育をめぐる国際交流：代表者 小澤紀美子
- 食と農をめぐる環境教育：代表者 原田智代
- 大学における環境教育の現段階：代表者 比屋根哲
- 動物園環境教育会議「動物園・水族館での環境教育の可能性を考える(3)—野生動物保全施設に向けた連携づくり—」：代表者 高橋宏之
- ネイチャーセンターのワーキングネット：代表者 小林毅
- 新しい教育像を求めて—批判的環境教育の可能性—：代表者 塩川哲雄
- 幼児期における環境教育：代表者 近藤正樹
- 水環境教育指導者のための本づくり—どんな本が欲しいですか—：代表者 小川かほる
- 「総合的な学習の時間」と体験的活動—教育改革と学校環境教育の可能性—：代表者 田中敏久
- ミニシンポジウム：代表者 山口洋